さいち おはなしばたけ通信 vol.32

平成19年3月15日
交野市立私市小学校
読書ボランティア
さいちおはなしばたけ
代表 高垣 京子

6年生メンバーからのメッセージ

6年生の皆さん ご卒業おめでとうございます。

小学生の皆さんと一緒に絵本を読めた時間は、私にとって、特別な大切なものでした。これからも、あなた達と接する事を楽しみに、そして、大切に見守ってくれている人がたくさんいます。私市っ子、ガンバレ！ 田中 寿子

教室に1歩入る時の緊張感が子ども達に読み語ることにより、最終的には、爽快感に変わっていました。幾年ではなく生の声をいつまでも聴き続けられますように… ヤスダ

低学年の頃「なあ、なあ～」と親しげに話しかけてくれたあなた達が、いつの間にか敬語で話すようになり、重い本の箱を運んでいると、すっとドアを開けてくれたり、「運びましょうか？」と声をかけてくれて…そんな成長を側で見ることができて幸せでした。素敵な私市っ子達。いつまでも「誰かのため」の優しい心を忘れずにいて下さい。 高垣京子

はじめておはなしに、朝の教室へ入ったのが、みなさんが3年生の春でした。とても緊張しましたが、みんな一生懸命聴いてくれて、「また次がんばろう」と思いました。本当に本が好きな6年生のみなさん、これからも本を楽しめたらいいですね。ご卒業おめでとう！ ゆう

まっすぐに絵本を見つめる1,2年生。
話にツッコミを入れたり反応の多い3,4年生。
恥ずかしくなってくるのかナナメに見る感じ?! でもまっすぐな心はそのままの5,6年生。私市の子供達はサイコー！
色々と楽しませてもらいありがとうございました 柳保江

一冊の絵本を通して、朝から子ども達の笑顔に、たくさんパワーをもらえました。ありがとうございました！
それぞれの春、充実したスタートとなりますように。 大野愛衣

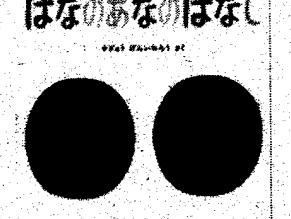
心ひかれるおはなしと出会った時のように、これからの新しい生活や仲間との出会いが、ワクワク♡楽しく♡幸せ♡なものでありますように願っています!!
6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。 ゆーき♪

春休みのおすすめ本

低学年

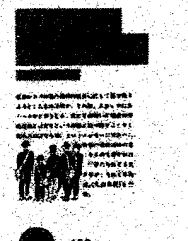
『はるがきた』
ジーン・ジオン 文
マーガレット・ブロイ・グレアム 絵
こみやゆう 訳
〈主婦の友社〉

中学年



『はなのあなのはなし』
やぎゅう げんいちろう
〈福音館書店〉

高学年

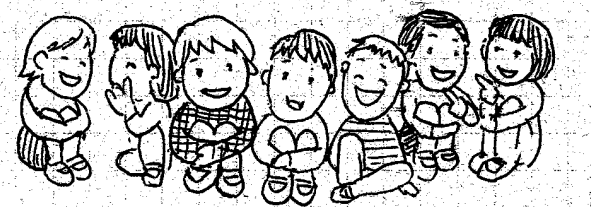


『君たちはどう生きるか』
吉野 源三郎 著
〈岩波書店〉

6年前、縁あって子どもの頃を過ごした私小図書室へ戻って来ることができました。おはなしばたけの仲間と共に、子どもたちに本を読み、図書室で様々な作業をして過ごした日々は、本当に楽しい時間でした。

そして、あっという間に、私にとっては2度目の卒業？(笑) 活動を支えて下さった先生方、保護者の皆様に感謝いたします。

これからもおはなしばたけをよろしくお願いします。 ゆらく



言葉のちから

迷ったり、悩んだり、落ちこんだりしたら、詩を読んでみよう。

聴くこと

長田 弘

土が語ることば。泥が語ることば。
空のひろがりが語ることば。
遠くの丘が語ることば。石が語ることば。
昼には、川が、夜には、大熊座が語ることば。
蜂が語ることば。老いた樹皮が語ることば。
バッタが語ることば。シャクナゲが語ることば。
耳をたむけるのだ。大事なことは、
見ることではなく、聴くことなのだと思う。
誰のためでもなく、誰のものでもないことば。
眼で聴く。そして、耳で見るのだ。
けっして語ることをしないものが語ることば。
どこにもない傷口から流れだすことば。

「長田弘詩集 はじめに…」岩崎書店